

2.3. 京都会場

I、名称

★ ИКРА 食堂がやってくる！！

～Yuri's Night にそらを見よう～

II、開催時期

2008年 4月12日（土） 昼12時～20時

III、開催場所

輸入雑貨セレクトショップ Vesna！ 店舗横フリールーム『実りのハコ。』

(603-8341 京都市北区小松原北町119 TEL&FAX075.463.3566 E-mail:info@vesna-ltd.com)

IV、主催機関などの名称

ロシア宇宙カフェ ИКРА（イクラ）

V、開催目的

京都の輸入雑貨店のフリースペースを借り、オリジナルアレンジしたロシアンフードの楽しめるプチカフェを開催。

宇宙記念日として宇宙の未来を祝いつつ、身近な宇宙についてなどの話題が行き交う、穏やかな時間と空間の共有を目的とした。

VI、当日プログラムなど

(1) カフェ営業

当日のメニュー

- ・黒パン
- ・自然酵母パン（春の果物や野菜、桜の酵母で仕込んだパン）
- ・ラムネ（酵母入り手作りラムネ）
- ・宇宙ヨーグルト（ロシアのソユーズロケットに乗って宇宙旅行をしてきた乳酸菌で発酵させたヨーグルト!）
- ・黒パンオープンサンド（スメタナとスモークサーモン／スメタナとジャム）
- ・ボルシチ
- ・ロシアンティー（黒すぐりジャム付き紅茶）
- ・ソーダヴァレーニエ（黒すぐりジャム入のソーダ）

- ・クヴァス（ロシアの国民的飲料。飲む黒パン）
- ・カルピーツァ（オリジナル乳清飲料）

(2) ユーリーズナイトの紹介

会場では、簡単な宇宙に関する雑誌、本、映像などを紹介。

(3) プチイベント

カフェ・雑貨店終了後に、会場前にある公園で星空（そら）と桜を見上げ、乾杯をする。

（小さなことでも、いつまでも記憶に残るようなそんなイベントを目指した）

Ⅶ、当日の様子

京都は桜が散り始めた頃。あたたかい日差しの中、カフェは雑貨店の開店とともに緩やかにオープンした。

宇宙の話題もゆるやかにはずむ、とても良い空間となった。

会場の様子



ユーリーズナイト用ポスター
イクラ製、ガガーリンマトリョーシカ。
宇宙船イクラ号。



照明として。そして冬は、中で揚げたての
ピロシキを保温します。
Cの光がいっぱい。どこかにPがないか探
してしまう（笑）



ユーリ、ライカ、ベルカ、ストレルカ、(写真にはありませんが最後は極小スプートニク)



カフェ用、宇宙、酵母関連の本など。スプートニクミラーボールが勢いよく回ります。



黒パンのオープンサンド。ガガーリンは、頭に穴が開いており、調味料(ディル)が入ってます。ちょっと無重力みたいでしょ？



「そらを見よう」プチイベントでの酵母試食の様子。参加者は、初めて見る、小さな宇宙をいただく。生きた酵母は美味しくて、皆さんの表情がパッと輝いたように思えます。



自家製の自然酵母たち。
いちご、桜、清美オレンジ。
瓶の中では、しゅわしゅわ元気な酵母たち
の、マイクロな宇宙が広がっています。



酵母は是非、果実入りでしゅわしゅわ。
星空を見上げながら、これで乾杯したかつ
た！！

ロケットの積み木で遊びながらの親子のお客様の会話「今日は人間が初めて宇宙に行った日なんだって」

イラストレーターの女性は「実は今日わたしの誕生日なんです。前からなんとなく宇宙について興味があったのですが、

今日がこんな日だとは知らなかった。感激です！」

普段、雑貨店に来られるお客様と、料理のことや宇宙について思うことなど会話もはずんだ。

プチイベントでは、会場前の公園で星空を見る予定が、あいにくの曇り空のためかなわず、予定を変更して、イベント主催者が普段感じている身近な宇宙のことを話しながら、パンや料理に使用している「自然酵母」のテイスティングを行った。

マイクロな宇宙、生きた酵母「命」を食べるということ。

生命の連鎖と循環。すべてはつながっているということ。

イベントは、雑貨店オーナーさんも加わり、土佐宇宙酒も登場し、わいわいとくだけた雰囲気でにぎやかな時間となった。

プチイベント「そらをみよう」の様子



Ⅷ、主催者側から

私たちは、関西は滋賀、京都などを拠点に、ロシアの食べ物をつうじて、ロシアの文化や考え方を学び、そして普段の生活の中で、身近な宇宙（COSMOS）について考えながらゆるやかに楽しむ集まり、ИКРА（イクラ）と申します。

これまでの主な活動は、美術の個展やイベントなどで、ケータリング形式の「ロシアン宇宙カフェ ИКРА 食堂」を開いたり、種子島への打ち上げ見学ツアーを行ったり、月周回衛星「かぐや」の応援キャンペーンに参加したりと、いつも心に宇宙を忘れず、「一緒にそらを見よう！」と、まじめに地球（自分たちの生きる世界）の未来を考えております。

人類初の宇宙飛行。

その時、ユーリガガーリンの目に映っていたものはどんな世界だったのでしょうか。

地上ではどんな思いで彼のいる空を見上げていたのでしょうか。

この日、人類が手に入れたものは、単なる科学や技術の成功だけではなく、新しい視野と価値観だったのではないのでしょうか。

ミニマムとマキシマム。

自分たちの普段の生活を宇宙規模で考えたり、目に見えないマイクロな世界とのつながりを

意識したり。

私たちは常に宇宙とつながっている。

今回、このようなイベントを行うことによって、たくさんの人とのつながりができました。

日常くり返される生活の中で、このような出来事や、夢を共有するということ。

また、その時間の大切さとかげがえのなさを実感しました。

ユーリガガーリンが見た地球の美しさ。

地上から見上げるそら。

わたしたちにとって「宇宙」を考えることは、「未来」を考えることだと思います。

また、「未来」を考えることが、「生きていくこと」なんだと思いました。

この思いを胸に、来年のユーリーズナイトへとつなげて行きたいと思います。

京都会場 代表 ИКРА 池田信之

3. 支援団体及び決算

今回ご支援を頂いた企業・団体をご紹介します。

◇ 協賛

企業・団体名	口数
財団法人 宇宙科学振興会	15
Google	10
(株)デスペラード	5
(株)エンカフェ	3
東京テクノロジーコミュニケー ション専門学校	3
(株)ジャンプトゥスペース	1
宇宙システム開発(株)	1
エネックス合同会社	1
宇宙観光企画	1
Space Frontier Foundation	1
Rocketplane Global, Inc.	1
PD エアロスペース(株)	1
(有)国際宇宙サービス	1
有機音工房	1
学校法人山下学園 二葉幼稚園	1
(株)インフロー	1
Homebrew Rocket Workshop	1
HASECOM	1
sorae.jp	1
World Space Week	1
(有)ホロンテック	1

※ 敬称略、順不同

※ 1口10,000円のご支援を頂きました。

これらの支援金は、Yuri's Night JAPAN 実行委員会運営費及び東京会場にて使わせて頂きました。

◇ 特別協力

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

◇ 協力

小僧 com

FREEDOM 製作委員会

日清食品(株)

(株)講談社

NPO 法人 Space Tourism Society Japan

SpaceRef

レストラン basara

日本宇宙エレベータ協会

(株)ジャパングリエイティブズ 他

◇ お祝いメッセージ寄稿

永田晴紀 北海道大学教授

◇ 決算

・総収入：793,789 円

(内訳：協賛金、前年度繰越、トークショー入場料、パーティ参加費)

・総支出：748,808 円

(内訳：会場費、情報宣伝費、会議施設使用費、印刷費、当日交通費、謝礼、
当日昼食費、パーティ飲食費、雑費等)

・剰余金：44,981 円

(Yuri's Night JAPAN 2009 繰越金とさせていただきます)

協賛・協力いただいた多くの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

Yuri's Night JAPAN 2008 実行委員会一同

